

【板書事項】

『大和物語』「姨捨山」

作者未詳

〈語句〉(2段目)

☆名詞

・おばー姨・姥・伯母・叔母＝父母の兄弟
姥＝老女

・うばー姥＝老女
祖母＝そば
乳母＝めのと

・おうなー媪＝老女

わざー業・態・技＝仕事、技、仏事（法会・法話）

よしー由＝由緒・理由、由来

☆形容詞・形容動詞

心憂し＝辛い・嫌な感じだ。

さがなし＝性格が悪い。意地悪。

おろかなりー疎か・愚か＝疎遠。ばかだ。

☆動詞

詫ぶ＝失望・落胆・困惑

「わぶ」＝「しかねる」に耐えられなくなる。

慰む＝心が晴れる

〈修辭法〉(4段目)

句切れ＝和歌の修辭法。結句以外の句で終止すること。強調の効果がある。

（参考）二句切れは万葉集に多用され力強い印象を与える。
後拾遺集「月見ては たれも心ぞ 慰まぬ 3句切れ 姨捨山の ふもとならねど」

【進行表】

(0) 道具準備確認（教科書・辞書）。本時の目標「助動詞の正確な理解を通して登場人物の心情を正確に把握する。」

(1) 作品名・作者名板書

作者未詳って何だっけ。
うばすて山じゃない？（挙手させる）

(2) 範読

番号付けさせる

(3) 追い読み

男女別（奇数女子、偶数男子）

(4) 語句板書

該当箇所を指示し前後解釈しながら

(5) 修辭法板書

俳句の切れ字に相当。
ジャンル名 歌物語 「伊勢物語」は謎解き・歌の背景説明。
今回は和歌で「姨捨て山」が「慰めがたし」の引き合いにされる由来。

(6) p41「文法の要点」

(7) p39(9行目)「なりぬ」、p40(3行目)「つれど」、和歌「かねつ」
の違いを確認させる。

(8) p39(10行目)「すなる」なぜ伝聞の「なり」が使われているのか。

(9) 後半 から一斉読み。

まとめ（助動詞の正確な理解を通して心情把握）・次時の予告（口語訳とワーク持参）